

第2回学校運営協議会議事録

校名	大阪府立市岡高等学校
校長名	辻本 利勝

開催日時	令和6年11月11日(月)15:40~
開催場所	大阪府立市岡高等学校 2階 会議室
出席者(委員)	福島秀晃会長、中田昌彦副会長、 岸野圭吾委員、前川勝則委員、金庫利行委員
出席者(学校)	辻本利勝校長、島和広教頭、田中浩事務長、河村未来首席、柴田卓首席、 島田浩史教諭、森谷晃子教諭、広瀬紳之介教諭、
協議資料	・令和7年度使用教科書(選定・採択)一覧表 ・令和7年度 大阪府立市岡高等学校 普通科単位制 教育課程実施計画 ・進路に関する報告 ・R6年度 学校教育自己診断
議題等	
(1) 学校長あいさつ (2) 確認・報告事項 ① 「教員の授業とその他の教育活動に関する意見書」について ② 「令和7年度使用教科書選定」について(報告) ③ 令和7年度教育課程について ④ 今年度の学校経営と各種取組みの進捗状況等について ・3年生(令和6年度卒業予定生)進路状況について ・「学校経営計画および学校評価」について ⑤ 令和6年度 第1回授業アンケート結果及び第2回実施について ⑥ 学校教育自己診断実施について (3) 協議 ・単位制のメリットについて	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
(2)確認・報告事項 ①「教員の授業とその他の教育活動に関する意見書」について ・特になし ②「令和7年度使用教科書選定」について(報告) ・第1回の報告通りで認定を受けている。	

③ 令和 7 年度教育課程について

- ・ 1、2 年(79 期、78 期)の 2 年次「社会」に一部変更あり。

④ 今年度の学校経営と各種取組みの進捗状況等について

- ・ 3 年生(令和 6 年度卒業予定生)進路状況について

→指定校を利用する生徒が昨年度と比較して倍増している。共通テストは私学希望の生徒にも受験を促し、およそ 70%の生徒が受験する。

→国公立の学校推薦は 21 名が利用(昨年と同等)。一般入試と併せて 30 名程度が国公立に進学する見込み。

→79 期生、1 年生でベネッセのマナビジョンを活用していく。

- ・「学校経営計画および学校評価」について

→今年度新たに設置した「スタディールーム(自習室)」の活用状況について、朝は 10～15 名、放課後は 20～30 名の生徒が毎日利用して勉強をしている。

→学力診断の教員活用法説明会(分析会)を頻繁に実施している。

→確かな学力に向けて、グループウェア等の整備、各教室にプロジェクター 2 台設置。

→総探委員会を設立し、他行への視察などを経て計画を立てている。来年度から本格的に始動する予定。

→第 1 回オープンスクールが中止。9 月に代替を実施した。たくさん来ていただいております、反応も上々である。しかし、中学校教員に単位制を理解してもらえてないこともあるため、来年度は夏休みに教員用学校説明会を予定している。府立高校を守る動きとして、中高連携を大切にしていきたい。

⑤ 令和 6 年度 第 1 期授業アンケート結果及び第 2 回実施について

- ・ 第 1 回アンケート結果(7 月実施)の平均は、4 が満点のうち 3.46 であった。

- ・ 第 2 回授業アンケートは、12 月 17 日～19 日に Google フォームを用いて実施予定。

⑥ 学校教育自己診断について

- ・ Google フォームを用いて実施する。生徒は 12/12(木)に実施予定。保護者は 12/12(木)に案内を配布し、20(金)までに回答をしてもらう。集計結果は、第 3 回学校運営協議会にて提示予定。

→保護者の回答率が低いのが問題となっている。

メール配信(楽メアプリ)等を活用して、対策を行っていく予定。

(3)協議

[単位制のメリット(デメリット)について]

市岡高校の「単位制」という部分が、保護者・生徒だけでなく中学校教員にもよく知られていないのが現状。通信制とまちがわれたり、よくわからないから避けられたりするものがデメリットとなっている。単位制のメリットは教員の人数が多いことで、選択授業の数が他の学校と比べて倍以上ある。また、教員1人あたりの生徒の人数も少なくなるため、少人数展開が可能である。

単位制だけが強調されないように、『「普通科」単位制』であることを強調して学校説明会などを行っていく必要がある(他に何か打ち出せるものがあると良いが)。また、校長からの報告にもあったように、中学校の先生方へ説明会を実施して市岡高校を知ってもらうことで、中学生に説明会へ行くように後押しをしてもらいたい。